

# NYA 会報

Nagasaki Young Generation Association

発行 ▶ **NYA (社) 長崎青年協会** / 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階

TEL.095-821-1625 FAX.095-823-7375  
 会長 野島徹也 編集▶ 広報委員会 委員長 井手清治

スローガン  
**心意気**  
 2001  
**7**

☀ ☀ ☀ **7月号のテーマ「晴」** ☀ ☀ ☀  
**会長挨拶** 会長 野島徹也



例年並ですと海の日の前には梅雨は明けるといよいよ夏本番、ながさきみなとまつりの季節です。会員一丸となりペーロン選手権戦域の部に出場します。そして今年はターザンコンテストが“みなとのターザン2001”として出島ワープ前に場所を移し復活しますので、また一つ夏の賑わいが出来たと楽しみにしております。また協会内におきましては6月1日の松の森神社に於ける厄入り清祓い、翌2日の厄入り懇親会と多くの方に出席いただきまして本当にありがとうございました。この場をお借りして当事者として御礼を申し上げさせていただきます。さて6月例会ですが5月のブリックホールに続き新たな例会場として青年協会事務局で行いました。事務局での例会は事務局移転の時からとりざたされてきた事です。前回同様参加された会員皆様にはそれぞれに感じていただけたでしょう。今後とも、会員一人一人がいろいろな事業に参加し感じた事で大いに語り合いよき方向に向かえばいいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

◀ **6月例会開催** ▶

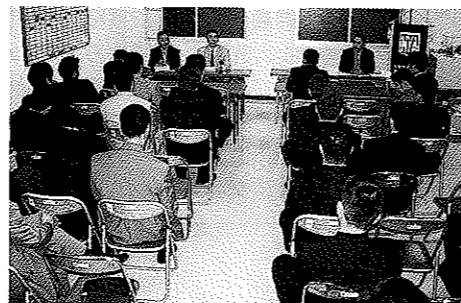
平成13年6月21日(木) / 長崎青年協会事務局

今月の例会は、初めての試みとして「青年協会事務局」で行われた。今までの例会会場とは違い、多少の狭さは感じたものの今時の青年協会(会員数)を収容するのは容易であった(39名出席)。さて、例会進行は憲章唱和に始まり、野島会長挨拶・役員報告・委員会報告があった。役員報告では、「平和の灯」「長崎ペーロン選手権大会」「ながさきみなとまつり」の報告と動員のお願いがあり、これからの青年協会の近時の活動に盛りあがった。委員会報告は総務例会委員会より片岡義勝君の「この時を待ってたよ!」ばりの長男誕生のお知らせ、広報委員会からは例会会場に今年度広報誌用に撮影した多くの写真を掲示し、閲覧を促した。研修委員会は今月の新人として「松島裕介」君(紹介者:池田秀樹君)を紹介した。交流委員会は5月に行われた「ソフトボール大会」の報告があった。地域事業委員会からは「厄入り」に関する「清祓いの儀」「朝食会」「厄入り懇親会」の報告とそのお礼がなされた。地域社会委員会は「サマーキャンプ」についての参加依頼等の報告があった。

第二部では先月より引き続き「ためになる例会」シリーズ第二回、テーマ「大



例会の様子(右前方より)



例会の様子(後方より)



ダブルコメンテーター



6月誕生者(田川君・片岡君)

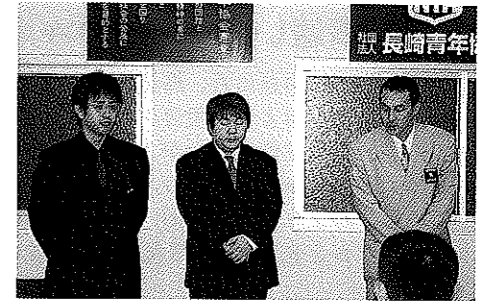
型店進出に伴う共存と競争による長崎の発展」についてのディスカッションである。今月のコメンテーターとして田川清浩君(レストラン経営)と広瀬健司君(米穀店経営)の2名を会員よりお願いし、司会は山崎伸一君の下で開始された。

まずは、「観光通りでは閑古鳥が鳴いている」等の田川君の発言であるが、今までの繁華街と新大型店舗は競争範囲の重複による「果てしない終り無き戦い」を続け共存は出来ないであろうという意見が出された。ちなみに長崎は全国的にみてアーケード街衰退率99パーセントの中で残っている珍しい街だそう。しかし、大型店に比べ、専用駐車場が無い、また、営業時間が短い等弱点が多く、見直す点も多いそう。

続いて、米穀店を営む広瀬健司君の発言は、まず現在に至るまでの経緯が報告された。それは数年前の「米の大凶作」に始まり、「米の自由化」による激しい生き残りを掛けた競争の中、小さな米屋である事を生かした仕入れや配達による小回りの良さでの集客力で生き残った事であった。また、大きくなる事よりも永続的な生活維持能力の大切さを訴えた。大きい所と小さい所はそれなりに商売する所や利点の違いにより共存する事は出来るだろうという内容だった。

これらの2名の意見を聴き「大型店と既存の繁華街では休日にどちらへ行く機会が多いか?」を質問したところ多くの会員は大型店であった。また、質疑の中ではその他の会員より、長崎の人口問題の影響やその減少・各家庭での出産率の低下が両陣営への影響をもたらす原因であるという意見もあった。大型店の普遍的品揃えによる大衆的な集客や、専門店での独創的な専門知識による固定客人気。どちらにしてもお互いが生き残るには両者なりの長所を活かした営業対策が必要であるということであった。平成不況が続く中、大型店が進出し競争率が激化する長崎において、お互いの営業努力により長崎の景気が、快晴になってくれればいいと思う。

ディスカッション後は「誕生者祝い」「よろこび」と続き、青年協会の歌で無事に初めての「事務局による例会」は終了した。なお、2次会は佐藤英仁君の「割烹とし」で行われ、皆の懇親を多いに深めた(32名出席)。



青年協会へようこそ(中央・松島君)



カンパイ IN 割烹とし

◀ **委員会訪問記** ▶

**地域社会委員会の巻 = 青少年育成事業を控えて =**

話が脱線したら仲間に入るつもりだったのだが、そういうこともなく、内容が充実した素晴らしい委員会だった!これだけにぎやかな委員会の事業なら、きっと、当日も良く晴れるだろう。

**麓浩二副委員長による今回事業の紹介**

さあ、夏も本番になり行事も目白押しとなっていく中、青年協会のメインイベント青少年育成事業「海があるさ! 山がある若い君たちには夢がある 星降る場所でキャンピング」を、来る8月25・26日1泊2日で行います。小学生を30名募集し協会員と一緒に海を感じ、キャンプをして自然を分かち合い心身の健全な発達を目指し、夏休み最後の思い出を作っていただこうと思っています。

昨今大人達は(私たちも含めて)「今の子供達は… 今の若い者は…」と悪い意味で表現されています。人を平気であやめたり、傷つけたり、確かに考えられないくらい良識に欠けている子供若者がたくさんいます。しかし、考えてみて下さい、この世に生を受けたときその子供達も、若者も、私たち大人も何の変わりもない無垢な赤ん坊だったんじゃないでしょうか? つまりその後の環境、教育、人間関係が子供達を変えていってしまっているのです。責任の一端、いやほとんどは私たち大人にあるのではないのでしょうか? 高度成長の名のもと自然環境を破壊し、忙しさにかまけて道徳教育を他人任せにし、子供達との心の距離が遠くなってしまった。その償いとして、子供を責めるのではなく、子供達に自然を少しでも返してあげる努力は必要だと思います。今回当委員会でも「自然とふれあうこと」をテーマとしています。テレビゲームの中で敵に刺されても痛みは感じません。でも草むらの中で虫に刺されれば痛みを伴います。自分の痛みを知る人は人の痛みもわかります。自然の中において生と死を感じとって、虚構の痛みでなく現実の痛みを知ってもらうことで青少年の育成に役立つことができると思います。

みなさん、子供達のためにお手伝いをお願いいたします。

**宮崎誠副委員長による委員会の紹介**

青少年の健全なる育成を目的とし、地域に密着したボランティアや人との触れ合いを肌で感じ取ってもらい、将来の長崎を担う子供たちが、平和やボランティア精神を学び、社会に貢献できるよう見守り、応援していきたいと思っています。



委員会風景

### 厄入り清祓いの儀 平成13年6月1日(金) / 松の森神社

原喜一郎君、沖迫司君、馬見塚純治君、地島秀君、野島徹也君の以上5名の厄入り清祓いの儀が早朝6時より、現会員27名、OB23名の見守る中、厳粛に執り行なわれた。

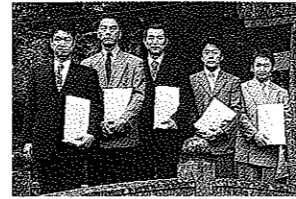
青年協会の日頃の行いがよいためか、今年の厄入りの儀も日本晴れとなり、参加された皆様も晴れ々々とした顔つきであった。

その後7時より「三十三間堂(長崎ワシントンホテル2F)」にて朝食会が行なわれた。

早朝にも拘らず、遠方より駆けつけていただいた現会員・OBの皆様の心意気を感じると共に、今年、厄入りを迎えられる5名の皆様、現会員・OBの皆様に災いが訪れないよう、お祈りしたいと思う。



厄入りの儀



厄入りの5名



朝食会

### 厄入り懇親会 平成13年6月2日(土) / 矢木楼

前日、厄入り清祓いの儀を終えた厄入り者5名、及び現役員32名、OB13名の出席のもと、夕晴れの中、厄入り懇親会が盛大に開催された。

小川順君の司会により厄入り者入場の後、前田哲也副会長挨拶、三浦勝太OB会会長挨拶、末石順君によるOB紹介、山室敏紀副会長による厄入り者への記念品贈呈の後、浅田五郎OBの乾杯により懇親会が始まった。沢山アルコールを飲み、沢山語り合い、余興として2種類のゲームを行なう頃には会場の盛り上がりは最高潮となっていた。

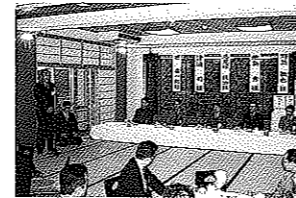
最後に湯藤正典OBの三本締めにより、懇親会はお開きとなった。

厄入り者の皆様、人生の後半戦が始まります。厄も皆で分け合いましたし、これからは何事にも惑わず、自分の顔に責任を持って、御無事で頑張れますように。

地域事業委員会の皆様、お疲れ様でした。



前田副会長の挨拶



厄入り懇親会(開幕直前)



### 原喜一郎地域事業委員長の感想「厄入り事業を終えて」

当事者はまず、厄入り事業はしない方がいい。喜ばしい事も半減する。委員会のメンバーと最後まで綿密なまでの打合せ。

それを当日にバトンタッチという事だから…。しかし、無事終了して良かった。私も含め5人の厄入者諸君!!

今年一年間無事に…!! 自重して行動する様に。6/1(金)厄入り清祓いの儀にはじまり、朝食会、6月2日(土)厄入り懇親会及び2次懇親会と厄入り事業一色。この会報誌をおかりしまして、お礼を申し上げます。

先輩方、現役諸君!! お付き合いありがとうございました。

ちなみに… 会長が厄入り当事者だったのは…平成6年度 桑田啓伍会長(当時)以来

担当委員長が厄入り当事者だったのは…平成10年度 円能寺隆地域事業委員長(当時)以来

厄入り当事者が全員、現役会員だったのは…平成2年以来(今回は平成15年度予定)

# 厄入り (厄入り清祓いの儀 厄入り懇親会)

### 厄入り者へ特別インタビュー

1. 厄入りを迎えて思うこと。
2. 衰えを感じますか? あれば、それはどんなときですか?
3. 家族へ一言。



原 喜一郎君 (昭和36年4月15日生)

1. もう40才、まだ40才、第二の成人式。人生の半分と考え方は色々あるが、私には、まだまだ40才だろう!! それに、する事がまだまだたくさん山積だ。手をつけずにまた1年がすぎるのはゴメンだ!! 青年協会で言えば、仲間づくりはまだまだだし、おくんち広場を盛り上げていく使命がある。頑張りがいるのではないかと。頑張ります。
2. おとろえ? 聞きなれない言葉である。私にはそんなものはない!!
3. 何もないだろうし何も言われない。今の私は、40才には見えないのだから…。言われているとしたら「いつものパパで!!」だろう。



沖迫 司君 (昭和36年5月16日生)

1. やっと厄入りか! というのが実感。以前より老けて見られていた為、やっと、見た目に年齢が追いついた様で嬉しい感じもします。私自身「厄入り」という事に関しては、それ程気にしている事はありませんが、一つの節目として今後の生き方(在り方)を良く考えてみようと思っています。
2. 少しづつ衰えてきていると思いますので、気がけて運動をし、体力及び体重維持に努めたいと考えています。
3. 妻が年上という事もあり、年齢関係の話はタブーである為、厄入りの「や」の字もでませんでした。



馬見塚 純治君 (昭和36年9月3日生)

1. みなさま、厄入り清祓いの儀、懇親会の際は大変お世話になりました。ありがとうございます。厄入りを迎える感じますのはこの40年のうち、特に協会に入ってからのこの10年が非常に早く感じられたということです。今は、まだ若いと思っているあなた。悔いのない30代を送って下さい。
2. まったく、問題なし。ピンピンです。
3. これから10年のテーマは、もちろん家族です。



地島 秀君 (昭和36年10月14日生)

1. 厄入りを迎える事に対してまず信じがたい今日この頃ですが、目標を胸に秘め、日々を大事に、健康には十二分に留意しながら仕事を充実させていきたいと思っています。
2. 特に体力、足腰に感じる。野球などで一塁に駆け抜ける時、本当に自分の足かと疑います。次に髪の毛が細くなってきて、「薄く」なってきました。只今、「カット イン ノグチ」で養毛剤使用中。
3. 嫁からは、たまには我が子にも「青少年育成」を言われているのでこれ以上無理は言えません。三人の子には、(〇〇ハムの宣伝ではありませんが) 腕白でもいい。たくましく育ってほしい。



野島 徹也君 (昭和36年12月15日生)

1. 先日、先輩からも言われました。厄入りは人生五十年の時代の儀式。今は、人生八十年、やっと折り返し地点についたところ、昔の感覚で言うところの成人式ってところでしょうか。四十になりあらためて自分の顔に自覚と責任を持って行動しなければと思います。
2. さすがに体力等々の衰えは感じるものの、それをカバーする術を学習中です。
3. 父さん母さん!! まだまだ、嫁は来んごたるばい。

### 我ら! 青年兄弟

長男より 次男へ 若くてピチピチ! ええの~

次男より 三男へ パソコンが...! 清潔そうな感じ、夜の顔が見てみたい!

三男より 長男へ あんまり良くわからないです! 同じ委員会なんですけどすごい人です!

### 池田三兄弟の巻

長男 佳央 頭よさそうでスポーツマン ええの~

次男 賢太郎 なんでも一生懸命のところが大好き!

三男 秀樹 一緒に遊びたい! 僕の為に、女性を集めて欲しい!

(今回は池田姓の3人を兄弟にしてみました。)

長男より 三男へ

### 池田で良かった事

- 変な名前でなくて良かった!
- 名前順で早く呼ばれるし...
- 池田が多いから振り返る事が多い。いつも僕は振り向きっぱなし、でも、彼女は振り向いてくれたけど!

### 新入会員紹介



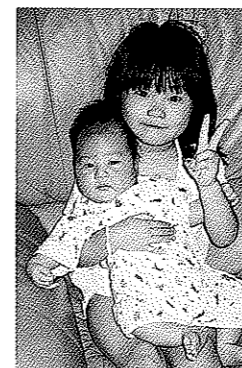
松島裕介君  
S46. 4.29  
BMT株式会社  
音楽、コンピュータ  
地域事業委員会  
専門は理数系で、特にコンピュータは得意です。

生年月日: 勤務先: 趣味: 配属: 自己PR:

### お子様誕生おめでとうございます

片岡 義勝君 長男 大紀くん

平成13年5月18日生 父より 「新世紀に大きく、たくましく、やさしく育ってほしい。」



### 編集後記

厄入りの儀が行なわれた6月1日は晴れの特異日であろうか。私が入会して以来(ここ6年であるが)いつもよく晴れている。(1日連日で「五月晴れ」ではない。)そして6月4日に入梅したものの、今年の梅雨は陽性なのか梅雨晴れの日が続いた。

6月例会において長崎における大型店進出について意見交換が行なわれたが、「浜んまち」の景気状況は確かに梅雨並みの長雨が降っているようだ。梅雨が明ければ夏空がやってくる。長崎の街も、地域社会委員会の青少年育成事業の日もそうなりますように。